

陽だまり

H I D A M A R I

9
月号

2021(令和3年)
No.167

日向の未来が見える

ひゅうが市議会だより

ひゅうが市議会だより

陽だまり

No.167 2021年(令和3年)10月25日発行

編集：議会広報特別委員会
構成：マウンテン&バレー/印刷：(有)第一印刷



一般質問を中止した議会をチェックしよう！

「みんなに伝わる広報誌」を目指します。



本文には、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



一般質問の内容はスマホなどから、動画で観ることができます。



陽だまりを音訳・点訳してあります。利用場所は裏表紙をご確認ください。

もくじ 表紙 | 細島小学校新校舎と児童

- 01 特集
- 05 2年度決算
- 07 9月定例会
- 11 委員長報告

ほか



体育館アンケート 回収率27.3% 市民の意思は？

9月議会の開会日に、日向市総合体育館整備事業の市民アンケート調査結果の報告を全員協議会で受けました。担当課の説明のあと質疑を行い、多くの議員からは、アンケート回答の分析の考え方や、コスト縮減につながるPFI導入可能性調査結果に質疑が集中しました。以下、質疑と答弁内容です。



問 市民から無作為に抽出した3,000人にアンケートを行い、回答者数が818名との報告。当局としてはどう判断しているのか。

答 回収率については、30%を目標にしていた。統計学的にはアンケート調査を行った18歳以上の人口に対して800人のサンプルがあれば信頼度は高いと考えている。



これらのデータをもとに市民説明会を開催していくとのことでしたが、議会としては、より丁寧な説明を望むものです。

問 PFI導入可能性調査業務委託は、民間資金を使って建設等を行うという考え方ではなかったのか。また、市民にとって使いやすさが確保され、負担増にならないのか。

答 PFIは公共施設の建設や管理・運営を民間の技術や資金などを活用して行う事業で、民間は銀行等からの資金を活用して建設し、サービスを行政が受けるため、その分を延べ払いして支払って行くことになり、市の負担が出てくる。今回の総合体育館建設は、大王谷運動公園の中ということで補助金や有利な起債等も想定されることから、資金調達は市が、設計と建設は性能発注により民間事業者が行い、運営維持管理は民間に委託するという長期包括方式(DB+O)という公設民営による事業方法を採用することにしたものである。今後は利用促進の施策を基本計画の中で考えていきたい。事業手法を踏まえ基本計画を整理し、市民及び議会への説明を検討したい。

陽だまりは、市民のみなさんからのアクションをお待ちしています！

Action!



「ひゅうが市議会だより 陽だまり」は、日向市が市民のみなさんにとって陽の当たる「陽だまり」のように明るく暖かいところになるように、この広報誌が議会と市民のコミュニケーションの場になることを目指しています。



市議会に行ってみよう！

議会開催日に議場(庁舎4階)の傍聴席までお越しください。

今回は11月26日(金) 午前10時～開会予定です。

どなたでも傍聴することができます。気軽にお越しください。



SNSをフォローしてみよう！

Instagramで最新の情報をお伝えしています。こちらのQRコードを読み取るか、#hyugashigikaiをアプリ内で検索してください。



ご連絡やご質問はこちらまで！
日向市議会事務局



ホームページ 日向市議会 検索

電話 0982-66-1035(議会事務局へ直通)

FAX 0982-52-8148(議会事務局専用)

E-mail gikai@hyugacity.jp

所在 日向市役所本庁舎4階

今月の表紙

令和3年(2021年)8月に新校舎が完成。9月から新しい教室で勉強や友達との交流が始まりました。細島小学校といえば、校歌の作詞者が北原白秋で有名です。児童数は100名を下回っていますが、訪問した時の元気な挨拶と笑顔で元気をいただきました。



音訳・点訳版はこちらから

「陽だまり」
音訳・点訳の
利用場所

音訳 市民情報室 / 市立図書館

点訳 市民情報室 / 市立図書館
あいとぴあ / 福祉課
社会福祉協議会

ご協力ありがとうございます

訳のご協力 音訳・点訳ひゅうが「虹の会」

一般質問が中止に至った経緯は・・・?

議会運営委員会*において再度協議することに

8月20日 金

議会運営委員会において複数の委員から、市当局の負担軽減や市長勉強会等での3密による感染リスクを避ける観点から、一般質問の中止や文書質問、時間短縮などの提案がありました。一方で、議員の権利として一般質問は文書ではなく、直接、議場で行うべきであるという意見も出され、各会派で持ち帰り検討し、次の議会運営委員会において再度協議することとなりました。



市長から文書が提出

8月23日 月

市長から議長宛に「9月定例会での一般質問等について、本市が『まん延防止等重点措置』の指定区域となり、職員の負担を考慮し、特段のご配慮をいただきたい」との文書が提出され、各会派の代表者と議会運営委員会の委員に、取り急ぎその文書の写しを送付するように正・副議長から指示がでました。

全員一致で一般質問の中止を決定

8月25日 水

議会運営委員会が開催され、各会派間で「コロナ禍により市職員の業務量が増え、^{ひっばく}逼迫している状況が議会や市民にはなかなか伝わってこない。そういった中で、今回一般質問を中止した場合、市民の理解が得られるのか。」という意見や「新型コロナウイルスの感染者は激増しており、本市は宮崎県で初めてまん延防止等重点措置の地域指定を受けるような状況にある。また、職員にも複数の感染者が出ており、我々議員もいつ感染するか分からない状態であるため、今回の一般質問は中止すべきだ。」といった意見など、賛成・反対、双方の立場から様々な意見が出されました。これまで、議会運営委員会では、議会の運営に関する事項は全員一致で進められてきた経緯を踏まえ、最終的には全員一致で9月定例会における一般質問の中止が決定し、9月8日に全員協議会を開催することになりました。



一般質問が中止となったことを記者発表

8月26日 木

一般質問が中止となり、議事日程が変更となったことを記者発表し、ホームページや新聞の折り込みチラシで市民に周知しました。市長部局へ「9月定例会における議会運営について(回答)」を送付しました。



委員長報告の中で、中止となった経緯について説明

8月27日 金

9月定例会開会。会期を40日間とすることに決定。議会運営委員会の委員長報告の中で、一般質問が中止となった経緯について説明が行われました。

議論内容については
次のページでお伝えしていきます!

日向市議会では、今後、同様の事態が生じた場合の一般質問の対応について、考え方や意見を展開し、議論を深めながら協議を行いました。

ココが知りたい!!

市民の皆さんのなぜ?なに?に答えます!

今回のテーマ 「一般質問中止の経緯」



「9月の一般質問」はどうして中止になったの?

様々な議論の末、最終的には市長からの依頼内容を尊重し、重く受け止めた結果、全員一致で、今回の9月定例会における一般質問を中止するとの結論が出されました。そのことについて、今後同様の事態が生じた際の対応等も含めて全議員で確認しておく必要があるのではないかという意見のもと9月8日に全員協議会*が開かれました。



陽だまりメモ 「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置しました

コロナ禍における市民の命と暮らしを守り、経済浮揚^{ふよう}を図るための調査研究を行い、実施されたコロナ対策等の施策の検証^{てきぎ}を適宜行つため、議長を除く全員で構成する「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の設置を9月定例会の最終日に決定しました。設置期間は、調査終了までです。

①「一般質問の位置づけ」

今回の特集では、この2つの項目に関して市民の皆さまへ特集という形で説明を行い、その協議内容もご報告いたします。



②「一般質問が中止に至った経緯」

どうして一般質問は大切なの?

一般質問は、市民の代表である議員が市の考え方をチェックし、市民の思いを市政に反映させるという大切な役目を果たしています。



*詳しくは2019年の「陽だまり Vol 160」のP7,P8の特集でもご確認いただけます



一般質問の位置付けについて、もっと詳しく見てみよう!

一般質問の位置付け(確認事項)

- 市民からの選挙で選ばれた各議員が、市民の喫緊^{きつぎん}の課題を質問する場。
- 市から提案される議案の中には現れない、取り残されている市民の意見や提案、地域の課題を各議員が掘り起こし、それを市に提示してお互いに共有する場であり、市民福祉の向上・充実を図っていく重要な役割を担うもの。
- 市政の監視機能としての役割や当局に対する政策提言。
- 議員が有する権能であるが、地方自治法で定められたものではない。
- 議会基本条例第4条～第7条及び日向市議会会議規則第62条や日向市議会運営に関する申し合わせ決定事項及び先例集(議会要覧 P166-167)
- 優先順位としては、「議案審査が第一」とする説もある(出典:議員研修誌【地方議会人】2020年4月号)

議論内容 「同様の事態が生じた場合の一般質問の対応について」

今回は、さまざまな意見や要望がありました。



特集

2年度決算

9月定例会

委員長報告



黒木 高広議員

今後、このような感染症など人命に関わることや災害時などの事態が生じた場合の一般質問の対応についてを議題とする。
結論を求めるのではなく、意見交換、議論ということで発言願う。

柏田 公和議員

議会運営委員長として、一般質問の取扱いに関し委員会を運営していく過程で、中止すると至った後でも、各議員ともに様々な考えがあったと理解している。

これまで同じようなケースが発生した時に、議員の共通認識を図るために議論をする場がなかったので、この全員協議会を大事な場として、様々な発言をしていただきたい。



三輪 邦彦議員

議会の役割、自治体の意思を決定する場という役割を実現するために、本会議、委員会と並んで、一般質問は不要不急ではなく、必要不可欠なことだと思っている。

例えば、時間短縮や質問人数の制限、文書質問を行うにしても、条件や基準をはっきりしないと非常に曖昧である。一般質問は非常に大事だという前提に立ちながら、中止等の条件や基準をはっきりしていく方向でやらないと問題だと思う。



畝原 幸裕議員

まずは質問することの可否について、そういう事態が発生した場合には、その時その時で色々な状況も勘案しながら判断することが一番重要だと思う。



小林 隆洋議員

一般質問の重要性については議会基本条例の中にも定められており、市民の負託に的確に応える必要がある。我々に与えられた重要な一つの使命である実感している。市長からの一般質問への特段のご配慮に関する文書が出され、私は独自に事前調査を行ったが、多岐にわたる業務が市役所の中で発生し、さらにまん延防止等重点措置が出された。権能の一つとして一般質問の重要性を理解したうえで、今後、全員協議会などを通し協議を重ね、市民へ発信することが重要である。



森腰 英信議員

一般質問について特段の配慮が必要であるなら、もっと重みをもった背景が欲しかった。どのようにひっ迫し、質問の準備過程での危険性の説明など皆無だったので、今後は、感染拡大防止に向けてどのような対策をするのかなどをぜひ言っていただきたい。



徳永 幸治議員

私はコロナウイルス感染症のワクチン接種について、今回発言できなくなったのでとても残念だ。



三樹 喜久代議員

ウィズコロナという観点の中で、一般質問などのやり方について工夫をしていくために、ある程度決めておく必要があるんじゃないかと思う。



友石 司議員

現在、議会BCP*が作成されていない状況であり、このような状況へ対応するため、自然災害や感染症、災害等への対策を進めていってみたいと考える。



富井 寿一議員

当局から要請がある前に、全員協議会なり代表者会議、もしくは議運など開催をして、議会としての方向性を先に議会として決めていく形をとるべきだと思う。



西村 豪武議員

本市職員にも数名の感染者が出て、職員の負担が増えており、一般質問中止はやむを得ないと判断した。今後は、議長が早めに判断して全員協議会などの機会を設け、慎重に全員で協議を進めて決めべきだと思う。

海野 誓生議員

我々議会そのものが危機感を持ち、状況に応じ決定していくということが大事。当局から要請されたから動くのではなく、能動的に自分たちでこの議会の在り方を決めるということが大事ではないか。



三輪 邦彦議員

「しない」という判断をするためには、その都度、客観的な材料をきちんと持たないと、議会の本務を果たせないと思う。



黒木 万治議員

当局側から特段の配慮の内容が必要であった。今後については、縛りをかけずに状況判断で対応するのがよい。



黒木 金喜議員

他の議会では議員が感染し、議会が開会できずに廃案になったという。事態が想定できない現状であるから、その時点において判断していくのが望ましい。



柏田 公和議員

情報提供の在り方は当局のほうも考えてもらわないと、様々な事態が発生したときに、議会として当局に対して求めていく形での審議の仕方などを考える必要がある気がする。



海野 誓生議員、畝原 幸裕議員

市当局から文書が出されたから論議をするのではなく、詳細や背景を議会として求めないといけない。それは我々がやるべきことをやれていたのかだと思う。



三樹 喜久代議員、小林隆洋議員

私たちはもちろん追求していかないといけないが、十分な回答を求めるためにも、当局の意識改革をしていかないといけないと思う。これまでに行った対策も含め、後でまた検証していくことも大変重要だと思う。



日高 和広議員

市長からは「特段の配慮をお願いします」という文書1枚の提出だが、議会に対してはそれで十分であるという感覚でしかとらえていないという印象を受ける。



西村 豪武議員

今後、これを機会に、様々な場面に遭遇した場合には、議長として対応をしていただくようお願いしたい。



黒木 高広議長

この件の結論を出す場ではないので、正副議長と議会事務局で精査しながら、また、議会運営委員会のほうに投げかけて結論を出していくという形とする。



議会傍聴に行ってみよう!

どなたでも傍聴することができます。気軽に庁舎4階傍聴席までお越しください。

次回のいっぱん質問は12月6日 月 からの予定です。

賛否が分かれた議案と結果をご紹介します。

議案名	議員名	結果	黒木高広	三樹喜久代	黒木金喜	小林隆洋	若杉盛二	松葉進一	海野誓生	徳永幸治	三輪邦彦	富井寿一	柏田公和	西村豪武	近藤勝久	黒木英和	友石司	森腰英信	日高和広	畝原幸裕	黒木万治	
令和2年度日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●
令和2年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算		可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●
令和2年度日向市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算		可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。黒木高広議員は議長職のため通常は表決権はありません。



審査の過程で、委員会からどのような指摘・要望があったのかその一部をご紹介します。

総務政策環境委員会



南分遣所管理運営費

消防本部職員の増員については、ここ数年、継続的に委員会として付言をしているが、改善がみられていない。今後、東郷分遣所にも救急車の配備が予定されている状況であり、市職員の活用や必要な人員の確保に早急に努められたい。



高校魅力向上支援事業

まちづくりの中における県立高校の位置づけは、地域の絆的役割を果たしている。現在、廃止という言葉は出ていないという事だが、同じような状況にある高校と連携を取りながら、力強く存続に向けて要望を継続されたい。

文教福祉委員会



ボランティア活動支援事業

民生委員のなり手不足や高齢化を勘案し、民生委員協力員制度等の事業化を含め、早期に打開策を検討すること。



学校ICT*環境整備事業

早急に教職員のスキルを高め、授業にあたるよう努めること。また情報リテラシー*の向上に努めること。



コミュニティ・スクール活性化推進事業

地域の方々との情報共有を図り、目指す像を提示し、活性化を図ること。

産業建設水道委員会



有害鳥獣対策事業

猟友会の高齢化、後継者不足を解消するため、GPS装置の活用や補助金制度の見直しなど、就業環境の整備を行うこと。



企業誘致推進事業

県の港湾整備計画にも網羅されている18号岸壁の造成を早急に推進し、東郷町地域の内陸型企業誘致に向け、真摯に取り組むこと。



農地中間管理機構支援事業

農業委員会では非農地認定が可能となる等取り扱いが変化している。運用は慎重に行うべきだが、影響は非常に大きいため先進的に取り組むこと。



日向市議会が注目する決算をみんなでチェックしよう!

令和2年(2020年)度の決算を承認しました

「自主財源比率」低下するも決算は黒字

令和2年(2020年)度の、「日向市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定」「日向市上下水道事業会計剰余金の処分及び決算」「日向市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算」「日向市病院事業会計決算」が提案されました。自主財源は低下したものの、実質収支は黒字でした。

議会は、9月27日に議案質疑を行い、29日から2日間、各委員会で審査し、10月5日の本会議で決算関係議案のすべてを承認しました。

予算の使い方は適正だった? 次年度にどう生かす?



日向市の令和2年(2020年)度決算(一般会計)



一般会計歳入(入ってくるお金) 393億9,934万円

一般会計歳出(出ていくお金) 385億8,439万円

差し引き額 8億1,495万円の黒字



歳入に目を向けると・・・

自主財源・依存財源別に見ると、自主財源(市税・固定資産税・使用料等)の構成比が30.2%、依存財源(地方交付税・国庫支出金等)が69.8%となっています。公営企業会計の上下水道事業等の決算では、水道事業が当年度純利益1億5,033万円、下水道が当年度純利益1億8,513万円となっています。

歳出に目を向けると・・・

歳出の性質別内訳では、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)が44%を占めており、前年度より5億6,108万円、率にして、3.4%の増となっています。投資的経費(普通建設事業費等)は、構成比は10.9%、前年度より3億5,406万円、率にして、7.7%の減となっています。

決算を振り返って今後注目すべきこと

1 公共施設マネジメントに関わる個別施設計画

昨年の決算審査では、公共施設マネジメント計画が示されていなかったこともあり、審査が深化していませんでした。そのことを踏まえて、今年度、「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画が議会に提出されました。今後さらに審査が深められることが求められています。

2 「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童クラブ事業」

生涯学習課所管「放課後子ども教室推進事業」とこども課所管「放課後児童クラブ事業」の連携については、多くの議員が一般質問等で訴えているが一向に進んでいません。何が問題で障害になっているのかを具体化し、できない理由を整理することを求めました。



専決処分	補正予算*	事件決議*	条 例*	人事案件*
2件	4件	1件	3件	7件

計17件の議案が提案

Action!
審査し決まったことを
見てみよう!

8月27日に県が「まん延防止等重点措置」の対象となり、本市が重点措置の対象区域に指定された中で、市民の命と健康を守る感染予防対策を最優先に取り組みながら、地域経済の下支えや、回復に向けた施策についての予算が提案され、可決されました。

Pick Up!
補正予算 一般会計合計 10億7,874万の増額

新型コロナウイルス感染症対策事業の主な内容

感染拡大の防止

8月13日 専決処分の予算
飲食店等に対する営業時間短縮要請(8月14日~24日)に応じた事業者に対し協力金を支給するものです。
1億9,330万円

飲食店等の営業時間短縮要請や緊急事態宣言により、幅広い業種の事業者が経済的損失の影響が予想されることから、緊急的に支援給付金を交付するものです。(営業時間短縮要請協力金を受けている事業者を除く)
4,520万円

8月25日 専決処分の予算
飲食店等に対する営業時間短縮要請の延長(8月25日~31日)に伴う協力金の追加補正です。
1億2,300万円

9月追加補正予算
飲食店等に対する営業時間短縮要請の再延長(9月1日~30日)に応じた事業者に対し協力金を支給するものです。
5億6,560万円

飲食店等の営業時間短縮要請や緊急事態宣言により、幅広い業種の事業者が経済的損失の影響が予想されることから、再延長して支援給付金を交付するものです。(営業時間短縮要請協力金を受けている事業者を除く)
4,510万円

交通事業者への運行継続支援

9月補正予算
県の市町村交通事業者支援事業を活用し、路線バス事業者に対して、今後の事業継続を支援するための助成です。
971万9,000円

市内に営業所を置く公共交通事業者を対象に、観光周遊や駅アクセス等の2次交通手段である貸切バスや定期高速バス等、タクシーや自動車運転代行、福祉タクシー等に使用する車両に対する支援金です。
590万円

市民生活の支援
9月補正予算
コロナ禍で外出自粛が継続する中で、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっていることから、国庫補助金を活用し、支援対象児童等の家庭に対する見守りを行い、状況の把握や食事の提供などの必要な支援を行うものです。(2団体)
360万円

令和3年(2021年)成人式をコロナ感染拡大の影響により2度延期し、最終的には中止したことにより人生の節目の機会を提供できなかったため、地場産品を成人式のお祝いとして贈るものです。
266万4,000円

県産農畜水産物を学校給食に提供
9月補正予算
コロナ感染症の再拡大に伴う農畜産物への影響を緩和するため、宮崎牛を小中学校の学校給食に提供するものです。
958万5,000円

9月補正予算の新型コロナウイルス感染症対策事業以外の主な内容

地域介護福祉空間整備交付金事業
災害時において、利用者が安心して施設を利用できるように、国の補助金を活用して非常用自家発電設備を整備する事業所に対して補助金を交付するものです。
1,446万5,000円

日向市総合体育館整備事業
日向市総合体育館整備「基本計画」の策定にあたり、地盤状況の把握や施設配置等について検討を進めるため、敷地の地質調査、造成測量設計を行うものです。
680万円

企業誘致推進事業
情報サービス産業の分野で豊富なネットワークを有する企業に対し、「誘致対象企業リサーチ業務」を委託し、進出を検討する企業とのマッチング機会を創出し、効果的な誘致活動を行うものです。
200万円

Pick Up!
事件決議 日向市過疎地域持続的発展計画の策定

令和3年(2021年)4月1日に新たに施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、令和3年度から7年度までの5年間を計画期間とし、過疎地域の持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の更なる向上を図るために策定。
「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」「産業の振興」「地域における情報化」等、12項目で形成されています。



Pick Up!
条 例 日向市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例など3件

- 「日向市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例」
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正により、条文のずれが生じたために所要の改正を行うものです。
- 「日向市個人情報保護条例の一部を改正する条例」
保有個人情報の訂正が生じた際に、通知が求められている情報提供等記録について、通知先が総務大臣から内閣総理大臣に改正されたことに伴い、当該条文の改正を行うものです。
- 「日向市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例」
日向市では、東郷町域が一部過疎地域に指定されており、過疎地域の持続的発展に資する産業振興をより効果的に促進するため、一定の事業用資産を取得した事業者に対して固定資産税の3年間の課税免除を行うものです。



Pick Up!
人事案件 教育委員会委員の任命など7件

教育委員会委員の任命 くろき ともみ 黒木 智美さん	固定資産評価員の選任 たかやま かつみ 高山 克巳さん
公平委員会委員の選任 いなだ としふみ 稲田 利文さん	人権擁護委員候補者の推薦 もとやま りゅうたろう 本山 隆太郎さん わかばやし さとみ 若林 里美さん みうら 三浦 さゆりさん
固定資産評価審査委員会委員の選任 なす のりお 奈須 典夫さん	



※補正予算 …… 年度当初の予算(当初予算)に、追加・その他の変更を加えるため提出される予算(地方自治法第218条1項)
※事件決議 …… 日向市議会では、議案のうち条例、予算、人事以外のものを一括して事件決議と呼んでいます。
※条 例 …… 地方公共団体がその自治権に基づいて議会の議決によって制定する自主法の1つ
※人事案件 …… 地方自治法等に基づいて、議会の同意を必要とする人事議案

委員会提出議案の審査結果 全員一致で可決

特集

2年度決算

9月定例会

委員長報告

委員会提出議案 第3号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書(案)



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)における要望事項

- 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期間の到来をもって確実に終了すること。
- 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

議 会 NEWS

議会改革の取り組み

将来的な事業評価に向けた第一歩として、各常任委員会で「自由討議」を実施しました。

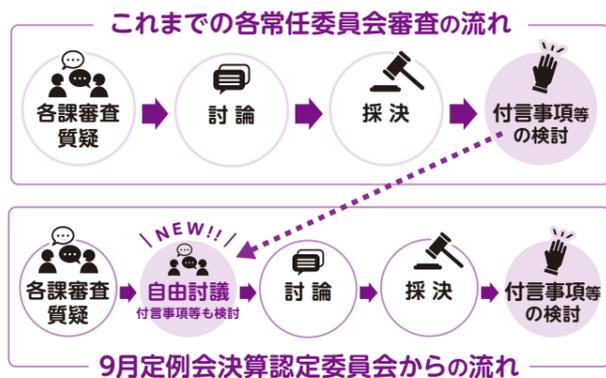


これまでの委員会審査との違いは、各課の審査終了後に行う討論、採決の前に、「自由討議」という形で、各委員が自由に意見を語る場を、常任委員会の委員長次第書に新たに明記して進行を行うものです。

今回「自由討議」を提案した議会改革特別委員会では、いずれ事業評価につなげていきたいという思いはありますが、現時点においては、将来的な第一歩として、委員間での自由討議の実施という目的を達成したところです。

自由討議について各議員の意見は、「おおむね良好」であり、次回の委員会審査においても採用し、所管課の意見を踏まえたうえで委員間の自由討議を充実させていきます。

各常任委員会審査の流れ



賛否が分かれた議案と結果

議案名	議員名	結果	黒木高広	三樹喜久代	黒木金喜	小林隆洋	若杉盛二	松葉進一	海野誓生	徳永幸治	三輪邦彦	富井寿一	柏田公和	西村豪武	近藤勝久	黒木英和	友石司	森腰英信	日高和広	畝原幸裕	黒木万治	
【修正案】令和3年度日向市一般会計補正予算(第6号)		否決		○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
令和3年度日向市一般会計補正予算(第6号)		可決	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。黒木高広議員は議長職のため通常は表決権はありません。

討論 一般会計補正予算のうち日向市総合体育館整備事業の地質調査と造成測量設計の委託料(680万円)を減額した修正案が日高和広議員から提出されました。

【修正案】令和3年度日向市一般会計補正予算(第6号)に対する討論

反対

これまで日向市総合体育館整備基本構想などを策定し、議会も必要な対応をしてきた。今、議会としての役割を果たすには日向市総合体育館基本計画策定に向けて、問題点の是正や議会・市民への説明会等の実施を求める事だと思う。(三輪邦彦)

反対

スポーツ施設整備基本構想、総合体育館整備基本構想が既に策定されており、この基本構想を基に基本計画を策定するものである。地質調査等は、将来を見通した基本計画を策定するためのものであり、修正案に反対する。(海野誓生)

賛成

議案第61号中コロナ感染予防対策予算は安心安全な市民生活には欠かせないが、体育館整備予算は緊急性の視点から問題がある。コロナ禍の中で市民生活の支援が喫緊の課題で、体育館関係の予算執行はすべきではない。(柏田公和)

賛成

今はコロナ禍という有事の時であり、財政状況も逼迫し先が見通せない中で、平時同様の巨額な予算を伴う事業は慎重に進めねばならない。総合体育館整備の建設時期・規模等を一から見直すよう望み、本事業に反対する。(森腰英信)

賛成

コロナ禍で疲弊の状況下では地域経済の活性化策等に特化した効率的な財政運営を優先させるべき。コロナ収束後の中長期的展望の再考察と今後の財政状況等を考えず、アンケート結果を基に早々に推し進める事は些か問題だ。(西村豪武)

賛成

①コロナ禍で市民生活が窮迫している。②場所が大王谷運動公園で市民にとって遠すぎる。③市民プールを壊してしまう。今回は地質調査の提案だったがこれを許可してしまうと建設までいってしまうので反対した。(徳永幸治)

請願・陳情と審議結果 市民からの意見や要望を審議しました

継続 請願 第5号

急傾斜地域の安全対策の為に立木伐採、崖の法面対策について

■ 請願者

日向市大字塩見1851-3 まつもと たかやす 松本 和育 さん

■ 趣旨

城山墓地登り口北側周辺の急傾斜地には、大木が茂り台風や大雨の時には大きく揺れ、雨による土砂崩れの不安があるため、安心・安全を確保するための工事を願いたい。

結果 | 不採択

賛成少数

継続 陳情 第10号

日向岬グリーンパークにおける期間を限定したキャンプ場開設について

■ 陳情者

日向市大字財光寺325-2 ひらた けんじ 平田 賢司 さん

■ 趣旨

日向岬グリーンパークに市営キャンプ場を開設し、占有を防ぐために期間限定で炊事棟などの仮設設備の整備及び火気の使用許可等、これらに必要な条例改正及び許可の取得を要望する。

結果 | 不採択

賛成少数

委員長報告



それぞれの委員会がどんな質問をして、行政はどのような答弁をしているのかを見てみよう！

委員会における審査



委員長報告の中から、抜粋して紹介します

委員会審査とは

日本の自治体議会は委員会制度が採用されており、詳細な審査は本会議ではなく委員会で行います。定例会最終日の本会議で、各委員会の委員長から審査結果の報告を受け、その中で特に重要な案件には付言委員会としての意見・要望）をつけ、それを踏まえて討論・採決が行われます。

総務政策環境委員会



コロナ禍の中で基金積み立て取り崩しの見通しは

今後、国庫支出金、市債等や地方交付税の確定を踏まえ、予算額に対して実際の取り崩し額は減少していく。



総務政策環境委員会



体育館整備事業の地質ボーリング調査の委託料と委託先は

地質調査は約380万円で、造成測量が約290万円。指名競争入札後の10月に発注予定である。

文教福祉委員会



文化財保存の目的で鉄塔建設区域内での発掘調査を行うことは

九州電力送配電株式会社が鉄塔建設を予定している工事区域内で試掘調査をした結果、発掘調査が必要だと判断した。遺跡内での開発行為は必ず届け出ることが文化財保護法で定められており、費用は開発者がすべて負担する。

産業建設水道委員会



コロナ対策営業時間短縮要請協力金支給は

協力金の支給額は、国の計画に基づく売上高方式が適用となり、本市も令和3年(2021年)8月から売上高に応じた協力金の支給を行っている。



産業建設水道委員会



企業誘致推進事業の委託内容と職員体制は

委託事業は、コロナ禍もあり、IT関連企業に特化して単年度で行い、公募型プロポーザル方式で委託業者を決定する。現在、企業誘致担当職員は2名であるが、県派遣職員との連携を密に取り組む。

総務政策環境委員会



クリーンステーション設置場所での住民のトラブルは

アパートができる段階で、地元区長や建設業者等と必ず事前協議を行い、アパートのクリーンステーション単独設置、もしくは、地区のクリーンステーションとの共用も視野に入れながら調整を図っている。

文教福祉委員会



児童虐待防止対策支援事業の概要と期待される効果は

委託先は宅食等の実績のある2団体を検討しており、委託料は相談員・訪問員2名の人件費や食材提供の需用費等を予定している。地域ネットワークが広がる契機となり、地域内での虐待の早期発見や居場所支援に繋げたい。

文教福祉委員会



地域介護福祉空間整備交付金事業で福祉避難所の充実を

医療的ケア児・者にとって福祉避難所での非常用電源は命に関わる問題。交付金活用で、同避難所の充実を図れないかとのことだが、そういった大規模施設の担当窓口は県となっている。防災の切り口から行う必要がある。

産業建設水道委員会



ふるさと日向市応援寄附金事業の取り組みは

ダイレクトメール配信システムに取り組み、寄附者の嗜好を分析。それに応じた返礼品を提案して次の寄附につなげる。職員は、経験のある会計年度任用職員を雇用予定である。



それぞれの委員会が、行政にどのような対応を求めているのか見てみよう！

総務政策環境委員会

職員の定年延長制度導入支援業務委託について

来年9月議会に条例案を提出するとの説明であったが、定年延長制度そのものが理解しにくい。引き続き雇用形態も含めて具体的な説明を求める。

産業建設水道委員会

市の重要政策の事業に専門職員の配置を

企業誘致推進事業やふるさと日向市応援寄附金事業等には、専門的知見を有した職員を配置して、職員体制の強化と拡充を図ること。



対応を求めました!!



対応を求めました!!